

平成 22 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

平成 23 年 4 月

鳥 取 県 立 大 山 青 年 の 家

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	6 頁
8	収入事務処理状況調べ	6 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	8 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8 頁
11	不納欠損額調べ	8 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	8 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	15 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	18 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	19 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	20 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	20 頁
20	備品の処分状況調べ	20 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20 頁
22	施設の利用状況（月別利用者数等）調べ	20 頁
○	意見、要望	21 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
大山青年の家	庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の集団宿泊訓練に関すること ・ 青少年の野外活動に関すること ・ 青少年及び青少年指導者の研修に関すること ・ その他青少年の健全育成に関すること
	指導係	

4 職員の定員、現員調べ

（平成23年3月1日現在）

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	22.4.1 現 在	当 該 年 度	22.4.1 現 在	当 該 年 度	22.4.1 現 在	当 該 年 度	22.4.1 現 在	
定 員	4	4					4	4	
現 員	() 4	() 4					() 4	() 4	
過不足(△)	0	0					0	0	
臨時職員	1	1					1	1	緊急雇用創出事業による 専門指導補助員1名
非常勤職員	1	1			2	2	3	3	一般事務 技術指導支援員 ボイラー技士 各1名

5 役付職員の調べ

（平成23年3月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	鷺 見 寛 幸	年 月 2 11	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>大山青年の家 受入事業</p> <p>決算（見込）額 29,970千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 26,487千円 諸収入 965千円 使用料 2,518千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 青少年社会教育施設の管理及び運営に県がより主体的に関与し、もって市町村、地域等との連携を深め、青少年の健全育成に係る施策のより一層の充実を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者は、1月末現在で 29,617人（304団体） 人気活動ランキング（1月末現在） <ul style="list-style-type: none"> 第1位 野外炊事 109団体 第2位 カヌー 79団体 第3位 オリエンテーリング 72団体 ・活動プログラムの充実を図った。 四季を通じた大山の豊かな自然を取り上げ、それらを生かした特色ある体験活動の提供と情報を共有する。 事前の打ち合わせの充実に努め、ねらいを明確にし、ねらい達成に向けた活動プログラムの開発・提供に努めた。 あらゆる年代の利用促進に対応したプログラムの開発・広報に努めた。 （幼稚園・保育園向けには、四季を通じた自然体験。小学校低学年生活科向けには、「秋みつけ」の内容充実。高齢者向けには、趣味や知識を広げるための活動。）どの年代にも季節ごとのプログラムの提案を盛り込んだ。 小学校長期自然宿泊体験を視野に入れたプログラム開発に努めた。 ・生涯学習実践の場としてあらゆる年代の利用促進を図った。 幼児については幼稚園・保育園を、高齢者については市町村教育委員会高齢者学級等担当者・公民館を定期訪問し、活動紹介をして利用促進を図った。 ・関係機関との連携の強化を図った。 むきばんだ史跡公園との連携事業をはじめ、大山町商工会、鳥取県カヌー協会、鳥取県キャンプ協会などの活動支援、大山寺旅館組合、森の国など近隣施設との情報交換やアクティビティの研修等、連携を強化した。また、森林組合や地元自治会の協力を得ながら、森林育成に関わるアクティビティの開発にも努めた。 <p>イ 平成22年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人と自然の出会い場所・大山青年の家」をテーマに設定した。 ・自然体験、生活体験など、年齢に合わせた効果的なプログラムの提供に努めた。 ・五感を活用した自然体験プログラム、仲間づくりに視点を置いた集団活動プログラムを作成し、利用者のねらいに合わせ提示した。集団宿泊活動でそれらのプログラムを実施することにより、利用者が豊かな心、生きる力を育むこと、集団として高まることをねらいとして共通理解し、引率者と指導に当たった。 ・「大山青年の家」という名前も知っていても、何をしているかよくわからないという方が未だに多い。あらゆる年齢の方に利用していただき、利用者数を確保するために、定期的に各関係機関に活動プログラム、活動の実際を紹介し、引き続き生涯学習実践の場をPRしてあらゆる年代の利用促進を図った。 各市町村教育委員会、公民館への案内・訪問 地区社会教育担当者会及び公民館職員研修会での案内 保育園・幼稚園については個別に案内及び周知 ・施設をより広く多くの人に知らせるための情報発信、広報活動を推進した。 県広報誌・新聞及び放送局（テレビ、ラジオ）を活用した主催事業等の周知 当所ホームページの「B○○B○○（ブーブー）ブログ」の常時更新（主催事業の案内、大山の自然等）

事業名	概要												
	<p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園では、親子行事としての利用が増え、四季を通じて利用していただいた。同時に、幼児対象の活動メニューも年々蓄積されてきている。また、公民館からは高齢者を対象としたメニューについて、強い興味を示してくるようになった。 <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">＜目標＞</td> <td style="text-align: center;">＜1月末までの達成状況＞</td> <td style="text-align: center;">＜2月以降の予約状況＞</td> </tr> <tr> <td>○幼児</td> <td style="text-align: center;">1,500人</td> <td style="text-align: center;">1,676人 (29団体)</td> <td style="text-align: center;">410人 (10団体)</td> </tr> <tr> <td>○高齢者</td> <td style="text-align: center;">500人</td> <td style="text-align: center;">213人 (10団体)</td> <td style="text-align: center;">20人 (2団体)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の研修のねらいを明確化することにより、ねらいに沿った活動プログラムの提供に努め、利用目標達成率の向上を図ることができた。 【目標】達成した99%（アンケート結果より） 入所団体との事前打ち合わせの際に、目標の共有化を図ることにより、目標達成率の向上が図れた。 ・HPの内容充実と更新頻度の向上 【目標】最低週1回の更新 数値目標の達成状況 最低週1回の更新は達成できた。 HPを活用して随時情報提供することにより施設利用の促進を図ることができた。アクセス数も月平均1,000回程度（1日平均30回程度）あり、HPを見て、予約を求める団体が関西方面を中心に増えている。 ・1月末現在で、利用者数29,617人、利用団体数304団体と、5年連続で3万人を超える年間利用者数となる見込みであり、利用ニーズが持続している。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用団体数は増えているものの、利用者数は減少している。また、利用時期が集中するため入所を断らざるを得ない団体も多い。同じ活動プログラムを用いて、他の利用団体と合同での活動を働きかけたり、時期の分散化を働きかけるなどして利用者の拡大を図っている。 ・12月、3月の利用者が年々減少傾向にある。臨時企画事業の開催などで利用を促進しているが、大学等のサークル合宿や企業研修等でも利用してもらえるような働きかけをしていく必要がある。 ・小学校における長期自然宿泊体験実施に向けた小学校への働きかけや、プログラムの提案をするために、近隣の関係機関との連携を今以上に進めていくことが必要である。 ・夏季及び冬季の利用については、毎年度決まった同じ団体が利用するケースがほとんどで、退所時に翌年度の利用予約を済ませて帰ることが多い。そのため新規利用希望者については、同時期での受け入れが困難となっている。 		＜目標＞	＜1月末までの達成状況＞	＜2月以降の予約状況＞	○幼児	1,500人	1,676人 (29団体)	410人 (10団体)	○高齢者	500人	213人 (10団体)	20人 (2団体)
	＜目標＞	＜1月末までの達成状況＞	＜2月以降の予約状況＞										
○幼児	1,500人	1,676人 (29団体)	410人 (10団体)										
○高齢者	500人	213人 (10団体)	20人 (2団体)										

事業名	概要																																																										
大山青年の家 主催事業 決算（見込）額 2,850千円 （財源内訳） 一般財源 1,711千円 諸収入 507千円 国庫支出金 632千円	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の宝、鳥取県の誇り「大山」の雄大な自然を生かした活動を利用者に提供し、顧客の利用満足度を一層高める。 ・生涯学習時代に対応した施設運営と情報・活動の提供をする。 ・野外体験活動を通じて自然に対する理解を深めるとともに、自然を大切にし、自然とともに生きる豊かな心や態度を育む。 ・集団活動を通じて自律心・協調性を養うとともに規範意識を育む。 ・社会性を育む自然体験・社会体験など体験活動を体験することにより日々の生活を見直すきっかけとする。 ・親子が自然の中で共通体験をすることで、話し合い、絆を深める機会にする。 ・文部科学省委託事業「青少年体験活動総合プラン（自然体験活動指導者養成事業）」を通し、集団宿泊体験学習、自然体験学習に関わる指導者のスキルアップを図る。 ・イベントスタッフの育成の場とする。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12事業を計画し、実施（参加者1,722人）している。 <table border="1" data-bbox="496 931 1310 1473"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>定員</th> <th>申込者数</th> <th>参加実数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春の親子フェスティバル</td> <td>なし</td> <td>—</td> <td>654人</td> </tr> <tr> <td>大山ファミリー登山</td> <td>50人</td> <td>59人</td> <td>55人</td> </tr> <tr> <td>親子エンジョイカヌー</td> <td>132人</td> <td>140人</td> <td>111人</td> </tr> <tr> <td>はじめての冒険（中学年）</td> <td>36人</td> <td>89人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>親子ふれあいキャンプ</td> <td>100人</td> <td>127人</td> <td>82人</td> </tr> <tr> <td>生涯学習実践道場</td> <td>100人</td> <td>97人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>大山わくわく探検隊</td> <td>36人</td> <td>57人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">はじめての冒険（低学年）</td> <td>夏 36人</td> <td>夏124人</td> <td>夏 35人</td> </tr> <tr> <td>秋 36人</td> <td>秋132人</td> <td>秋 36人</td> </tr> <tr> <td>体験活動指導者養成講座</td> <td>40人</td> <td>38人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">秋祭り</td> <td>宿泊 165人</td> <td>宿泊 110人</td> <td>宿泊 99人</td> </tr> <tr> <td>日帰 なし</td> <td>—</td> <td>日帰 284人</td> </tr> <tr> <td>親子エンジョイスキー</td> <td>200人</td> <td>434人</td> <td>164人</td> </tr> <tr> <td>歩くスキーのつどい</td> <td>50人</td> <td>(2月予定)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 平成22年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「春の親子フェスティバル」「秋祭り」について、従来から実施していた活動内容（野外炊事、おやつづくり）から、本来当所が提供するのが望ましい自然体験活動・自然遊び（野草解説、ネイチャーゲーム、草木染、ウッドクラフト）に重点を置いて広報・運営に取り組んだ。 ・「大山ファミリー登山」について、早い時期から子どもに登山経験をさせたいという親からの要望があり、対象児童の年齢を1学年引き下げ、小学3年生以上の親子として実施した。 ・「はじめての冒険」「親子ふれあいキャンプ」「大山わくわく探検隊」「秋祭り」について、初参加のスタッフ（主に大学生）に対して、事前説明会を開催した。前年度事業報告等の資料を提示して、内容を把握してもらい、安全対策に万全を期すことで、事業のより一層の充実を図った。また、学生ボランティアの参加要請を島根大学生だけでなく鳥取大学生へも呼びかけネットワーク作りに努めた。 	事業名	定員	申込者数	参加実数	春の親子フェスティバル	なし	—	654人	大山ファミリー登山	50人	59人	55人	親子エンジョイカヌー	132人	140人	111人	はじめての冒険（中学年）	36人	89人	33人	親子ふれあいキャンプ	100人	127人	82人	生涯学習実践道場	100人	97人	96人	大山わくわく探検隊	36人	57人	35人	はじめての冒険（低学年）	夏 36人	夏124人	夏 35人	秋 36人	秋132人	秋 36人	体験活動指導者養成講座	40人	38人	38人	秋祭り	宿泊 165人	宿泊 110人	宿泊 99人	日帰 なし	—	日帰 284人	親子エンジョイスキー	200人	434人	164人	歩くスキーのつどい	50人	(2月予定)	
事業名	定員	申込者数	参加実数																																																								
春の親子フェスティバル	なし	—	654人																																																								
大山ファミリー登山	50人	59人	55人																																																								
親子エンジョイカヌー	132人	140人	111人																																																								
はじめての冒険（中学年）	36人	89人	33人																																																								
親子ふれあいキャンプ	100人	127人	82人																																																								
生涯学習実践道場	100人	97人	96人																																																								
大山わくわく探検隊	36人	57人	35人																																																								
はじめての冒険（低学年）	夏 36人	夏124人	夏 35人																																																								
	秋 36人	秋132人	秋 36人																																																								
体験活動指導者養成講座	40人	38人	38人																																																								
秋祭り	宿泊 165人	宿泊 110人	宿泊 99人																																																								
	日帰 なし	—	日帰 284人																																																								
親子エンジョイスキー	200人	434人	164人																																																								
歩くスキーのつどい	50人	(2月予定)																																																									

事業名	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救護スタッフの確保には、年々厳しいものがあるが、鳥取大学医学部の学生、看護師、養護教諭など幅広いネットワーク作りに努め、親子参加事業に1名、子どものみの参加事業・長期間の「大山わくわく探険隊（沢登り、登山時）」には複数名の救護スタッフを配置し、安全対策に万全を期した。 ・ 3年目となる「体験活動指導者養成講座（文部科学省委託事業）」について、基本研修受講者を対象としたスキルアップ研修を実施し、集団宿泊体験学習、自然体験学習に関わる指導者のスキルアップ及びスタッフの育成を図った。 ・ 「親子エンジョイスキー」について、過去2年間の経験から、雪不足に悩まされてきた 開催時期を2週間繰り上げて計画・実施した。 ・ 毎年度、主催事業の抽選にもれて残念な思いをしている多くの落選者を救済するために、当初予定の主催事業以外に「おわび企画」という目的で、臨時企画事業を実施した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主催事業を開催することにより、大山青年の家のPRと施設の利用促進を図ることができた。特に近年、幼児をターゲットに西部地区幼稚園・保育園を訪問しながら、利用促進を進めてきたが、受入事業の中で、多くの幼稚園・保育園に利用していただくことで、「大山」を体験したことがリピーターとなって、更なる利用者増へ繋がっている。口コミによる広がりも期待でき、受入事業と主催事業とで相乗効果を生んでいる。 ・ 「春の親子フェスティバル」「秋祭り」では、活動内容を自然体験・自然遊びに重点を置いたことで、以前よりも参加者が増え、内容の良さを体感できた。 ・ 事前説明会を開催したことで、事業のねらい・大学生の役割を明確にすることができ、事業運営を円滑に図ることができた。また、鳥取大学の学生ボランティア参加も増加し、定着してきた。 <p>また、学生ボランティアとして参加していたメンバーの中には、就職後も一般ボランティアとして参加する傾向が強く、ボランティア養成としての機能が十分生かされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救護スタッフの確保のため、幅広いネットワーク作りに努めた結果、特に鳥取大学医学部の学生とのパイプが太く繋がり、事業運営に効果があった。 ・ 「体験活動指導者養成講座（文部科学省委託事業）」では、鳥取県教育センターとの共催、大山青年の家・船上山少年自然の家の2会場での開催となった。小中学校課、中部教育局から指導主事も参加し、連携を広げながらの実施となり、スキルアップ研修を実施することでより実践につながる研修となった。 ・ 本年度は臨時企画事業として、毎年度1番人気の「親子エンジョイスキー」落選者を対象に「そり祭」を実施した。約200人の応募があり、スキーに代わる雪の活動として満喫してもらい、大好評に終わった。このような臨時企画が当所の人気につながっていると考えられる。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、学生ボランティアの多くを鳥根大学生に頼る傾向だったため、特に本年度は学校行事の影響でボランティア招集に苦労した。新たに鳥取大学生とのネットワークも広がるようになったが、さらに短大生、専門学校生へも繋がりを広げていく必要がある。 ・ どの主催事業でも、天候の影響により活動内容の大幅な変更等を余儀なくされることが多い。雨天時、荒天時の室内活動の充実を図る必要がある。

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
教育使用料	社会教育施設使用料	205	1,979,010	1,979,010	0	0	鳥取県立青少年社会教育施設の設置及び管理に関する条例	
	(青少年社会教育施設)							
計(節)		205	1,979,010	1,979,010	0	0		
目計		205	1,979,010	1,979,010	0	0		
行政財産使用料	行政財産使用料	13	123,560	123,560	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	計(節)	13	123,560	123,560	0	0		
目計		218	2,102,570	2,102,570	0	0		
合計		218	2,102,570	2,102,570	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

該当なし

(5) 諸収入

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

収入目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑収入	雑収入	公衆電話手数料	10	1,050	1,050	0	0	高等学校等における公衆電話の設置に伴う事務処理について	
		行政財産の用に係る 外使用料等	49	598,052	598,052	0	0	自動販売機等に係る割当電気料金の算定方法について	
		行政財産の用に係る 外使用料等	6	202,903	202,903	0	0	契約(口頭)等による	
		薪代	105	179,340	179,340	0	0	契約(口頭)等による	
		主催事業参加費	18	469,680	469,680	0	0	契約(口頭)等による	
		コピー代	4	460	460	0	0	鳥取県情報公開条例	
		計(節)	192	1,451,485	1,451,485	0	0		
		目計	192	1,451,485	1,451,485	0	0		
		合計	192	1,451,485	1,451,485	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
社会教育施設施設使用料	1,979,010	施設使用料、シーツ使用料
雑収入	649,120	薪代、主催事業参加費、コピー代
合計	2,628,130	

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年1月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
青少年社会教育施設費								
支出金額が10万円未満のもの					22. 6. 30外	45,000		
目 計						45,000		
合 計						45,000		

(2) 補助金

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4) 委託料

(平成23年1月31日現在) (単位 円)

予算科目 (目)	国 単 の 別	委託料の名称	委託契約の相手方	当 格		初 期		契 約		入札等 年月日 (契約締結 年月日)	完了 年月日 履行検査	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	変更契約	契約 年月日 (最終)	契約 期間	契約 形態	支出 区分			支 出 年月日	金 額		
青少年社会 教育施設費	単 県	常駐警備業務 委託	中央警備保障㈱	13,200,000	()	20.4.1 ~ 23.3.31	20.4.1 ~ 23.3.31	20.3.26 (免除)	指+随	22.4.30 外	22.5.14 外	精算	3,299,625		
"	"	浄化槽維持管 理業務委託	(有)米子清掃	1,480,500	()	20.4.1 ~ 23.3.31	20.4.1 ~ 23.3.31	20.3.26 (免除)	指	22.4.5外	22.5.14 外	精算	371,280		
"	"	自家用電気工 作物保安委託	岡田電気管理事 務所	302,400	()	20.4.1 ~ 23.3.31	20.4.1 ~ 23.3.31	20.3.27 (免除)	随	22.5.18 外	22.6.8 外	精算	67,200		
"	"	消防用設備等 保守点検業務 委託	㈱吉備総合電設 米子営業所	494,550	()	20.6.25 ~ 23.3.31	20.6.25 ~ 23.3.31	20.6.25 (免除)	随	22.6.14 外	22.7.20 外	精算	162,750		
"	"	給食業務委託	鳥取県立大山青 年の冢給食会	13,387,000	()	21.4.1 ~ 24.3.31	21.4.1 ~ 24.3.31	省略 (免除)	随		22.4.16 外	前金	4,467,000	随契理由・その性 質又は目的が競争 入札に適しな いのを	
"	"	清掃業務委託	港ビルサービス	5,160,000	()	21.4.1 ~ 24.3.31	21.4.1 ~ 24.3.31	21.3.27 (21.3.31)	指	22.4.25 外	22.5.14 外	精算	524,106		

(平成23年1月31日現在) (単位 円)

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の相 手方	当初契約			入札等 年月日 (契約締結 等日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備 考	
				予定価格	変更契約 (最終)	契約 期間			契約 期間	支出 区分	支 出 年 月 日		金 額
予定価格が 20万円未 満のもの											108,150		
目 計											9,000,111		
合 計											9,000,111		

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成23年1月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			差引		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	面積 (㎡)	
行政財産	大山青年の家	西伯郡大山町 赤松明間原 312-1	54,889.00	45,729,686	増加	H		54,889.00		
						減少	H			
	大山青年の家	西伯郡大山町 飯戸向原 1542-5	40,660.00		増加	H		40,660.00		45,729,686
						減少	H			
	大山青年の家	西伯郡大山町 赤松明間原 312-46	10.00	10,000	増加	H		10.00		10,000
						減少	H			
計			95,559.00	45,739,686				95,559.00	45,739,686	
合計			95,559.00	45,739,686				95,559.00	45,739,686	

イ 建物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通 財産の区分	種 別	構 造	前年度末		本年度異動状況		引		備 考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	増減 別	面積 (㎡)		価額 (円)
行政財産	管理棟	RC-2	998.10	79,014,426	H	998.10	増加	998.10	79,014,426	
					H		減少			
	管理棟	RC-2	1,707.90	138,894,417	H	1,707.90	増加	1,707.90	138,894,417	
					H		減少			
	生活棟	RC-2			H		増加			
					H		減少			
	体育館	S-1		698.26	H	698.26	増加			
					H			減少		
	屋外便所	W-1		24.00	H	24.00	増加			
					H			減少		
	屋外便所	W-1		24.00	H	24.00	増加			65,800,000
					H			減少		
	焚場	W-1		24.00	H	24.00	増加			
					H			減少		
	給排水衛生工 事				H		増加			35,525,482
H						減少				
電気工事				H		増加			49,500,000	
				H		減少				

行政・普通 財産の区分	種 別	構 造	前年度末		本年度異動状況		引		備 考		
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	増減 別	面積 (㎡)	価額 (円)		面積 (㎡)	価額 (円)
行政財産	暖房換気工事			31,638,800	H	増加			31,638,800		
											減少
	合併処理工事			26,100,000	H	増加			26,100,000		
											減少
	燃料庫	C B-1		6.75	575,000	H	増加		6.75	575,000	
	炊飯棟	W-1		328.70	42,962,377	H	増加		328.70	42,962,377	
	屋外便所障害 者用増築	W-1		4.95	2,759,145	H	増加		4.95	2,759,145	
	屋外便所障害 者用増築	W-1		4.95	2,557,478	H	増加		4.95	2,557,478	
艇庫	W-1		138.00	16,346,400	H	増加		138.00	16,346,400		
											減少
計			3,959.61	491,673,525				3,959.61	491,673,525		
合計			3,959.61	491,673,525				3,959.61	491,673,525		

ウ 山林

該当なし

エ 動 産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）

該当なし

オ 物 権

該当なし

カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成23年1月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 18,940	円 148,000	円 114,800	円 52,140	
収 入 印 紙	0	0	0	0	
収 入 証 紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	18,940	148,000	114,800	52,140	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 債 権

(平成23年1月31日現在)

債権の名称	前年度末		本 年 度 中				本年度末		備 考
	金額	件数	増		減		金額	件数	
行政財産使用料	円 13,920	1	円 101,200	2	円 9,680	0	円 105,440	3	土地使用料(電気事業)の改定及び建物使用料(自動販売機設置)の増
合 計	13,920	1	101,200	2	9,680	0	105,440	3	

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量は積 数又面積	貸付(使用許可)の年月日	当初貸付(使用許可)の年月日	貸付(使用許可)の期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)の住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電気供給配 電線支持物 設置	西伯郡大山町赤松 明間原312-1	電柱 8本 支線 3条	H19.4.1		H19.4.1 ~ H24.3.31	円換・年額 9,680	9,680	米子市加茂町2丁目51 中国電力㈱米子営業所	・H19.3.31までは、家庭・地域教育課で貸付け(S52.4.1~) ・H22.4.1から使用料増額改定
計								9,680		
合計								9,680		

イ 建物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)の目的	所在地	数量は積 数又面積	貸付(使用許可)の年月日	当初貸付(使用許可)の年月日	貸付(使用許可)の期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)の住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	利用者への給食提供 清涼飲料水 等自動販売機設置の用	西伯郡大山町赤松 明間原312-1 " "	m ² 120.9 0.87 1.75	H21.4.1 H21.4.1 H22.3.24 H22.3.24	H18.4.1 H22.3.24 H22.3.24	H21.4.1 ~ H24.3.31 H22.4.1 ~ H25.3.31 H22.4.1 ~ H25.3.31	月額・年額 0 円換・年額 15,960 円換・年額 31,920	0 15,960 31,920	西伯郡大山町御乗屋263-1 鳥取県立大山青年の家給食会 鳥取市商業町203-24 えびす本郷㈱ 米子市尚三柳2864-7 荒井菓子㈱	10/10減免
計								47,880		
合計								47,880		

(2) 物品

(平成23年1月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
陳列ケース	1台	ガラスシヨーカーケース 60×90cm	H22.4.1 ～ H23.3.31	月額・年額 0	0	西伯郡大山町御来屋263-1	無償貸付	利用者への給食提供		
戸棚	1台	W1500×D750×H1800 cm	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
食器戸棚	1台	ステンレス両面式 1500×750×1800	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
食器戸棚	1台	名宝 KC-156	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
パンラック	4台	FPR150-75 B型	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
パンラック	1台	中西製作所 PL-66	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
ガスレンジ	1台	マルゼン RGR-1575	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
業務用電子レンジ	1台	三洋電機 EM-1600型	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
ガス回転釜	1台	クリナップ GHST-26	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
ガス回転釜	1台	飯部工業 GHST-26	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
炊飯器	1台	クリナップ CRA-150kg	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
冷蔵庫	1台	三洋電機 SRR-E781H	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	
冷凍庫	1台	ホシザキ HR-120PV	"	月額・年額 0	0	"	"	"	"	

(平成23年1月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
冷凍庫	1台	サンヨー SRF-EV128 3S	H22.4.1 ～ H22.3.31	月額・年額	0	西伯郡大山町御来屋263-1	厨房	利用者への給食提供	無償貸付	
冷凍庫	1台	SRF-F983S A型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
冷凍冷蔵庫	1台	ホシザキ HRF-150P3	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
食器洗浄機	1台	フジマック FDW60B	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
盛付調理台	2台	FTBSA1590 型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
盛付調理台	1台	FTCSA1590 型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
移動台	1台	富士厨房 チャンネルスノコ	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
シャワーシンク	1台	富士厨房 1200×900×800	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
一槽シンク	1台	富士厨房 チャンネル式スノコ	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
二槽水切付シンク	1台	富士厨房 1500×600×800	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
三槽シンク	1台	富士厨房 1800×600×800	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
フライヤー	1台	MGF-40H型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	
フライヤー	1台	タニコー B-TGFL-87 W	"	月額・年額	0	"	"	"	"	

(平成23年1月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住氏	所名			
ピラ	1台	北沢産業 KP-1	H21.4.1 ~ H22.3.31	月額・年額	0	西伯郡大山町御来屋263-1	鳥取県立大山青年の家給食会	厨房	利用者への給食提供	無償貸付
万能焼物器	1台	フジマック FFB80B型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
水切台	1台	富士厨房 900×600×800	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
水圧洗米機	1台	富士厨房 FRW-22W	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
消毒保管庫	1台	フジマック FEDAW30	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
包丁まな板殺菌庫	1台	DS-114B型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
包丁殺菌庫	1台	岸保産業 KT-101型	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
規格台秤	1台	ヤマト20kg	"	月額・年額	0	"	"	"	"	"
合計	38				0					

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約の有無	契約の状況		借受先		備考
						借受期間	借料(円)	単価	本年度の借料	
土地	田	カヌー艇庫敷地	西伯郡大山町 赤松字池ノ奥 1700-58	m ² 1,024.00	有	H15.4.1 ~ H24.3.31	月額・年額 60,000	60,000	個人	
合計								60,000		

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	西伯郡大山町赤松明間原312-1	12.50	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	月初日	減		増	月末日		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免 人	うち減免 人		うち減免 人	うち減免 人			
4月	11日	人	人	人	11日	4人	7,000円		
5月	11日				11日	4人	7,000円		
6月	11日				11日	4人	7,000円		
7月	11日				11日	4人	7,000円		
8月	11日				11日	4人	7,000円		
9月	11日				11日	4人	7,000円		
10月	11日	3	1	人	9日	3人	6,000円		
11月	9日				9日	3人	6,000円		
12月	9日				9日	3人	6,000円		
1月	9日				9日	3人	6,000円		
2月									
3月									
合計							66,000円	66,000円	0円

18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ

(平成23年1月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度			備考
					稼働 日数	(1ヶ月平均) 走行キロ数	修理費等	
ワゴン	H16	鳥取500 と7640	H16.7.27	40,375 km	126 日	(433.9) km	10,500 円	12ヵ月点検費用
合計		1台					10,500	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

22 施設の利用状況（月別利用者数等）調べ

(平成23年1月31日現在)

(単位：人)

月別	開所日数 (日)	学生以下 人数	青年(24歳以下)		一般		合計	
			人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)
4月	26	2,115	163	63,510	346	32,560	2,624	96,070
5月	25	4,458	41	0	1,188	2,200	5,687	2,200
6月	26	3,835	71	14,500	1,075	196,240	4,981	210,740
7月	28	2,435	50	2,030	1,131	66,880	3,616	68,910
8月	26	2,520	71	4,640	709	107,800	3,300	112,440
9月	25	1,816	42	10,730	807	76,120	2,665	86,850
10月	27	2,246	23	580	840	33,000	3,109	33,580
11月	28	1,258	7	0	305	12,320	1,570	12,320
12月	22	445	2	580	101	6,160	548	6,740
1月	24	1,045	14	0	458	10,120	1,517	10,120
2月								
3月								
計	257	22,173	484	96,570	6,960	543,400	29,617	639,970

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし